

つなぐ手ねっと

(リハビリスタッフが名付けてくれました。私たち、仲間、地域の復興へ向けた表現です。)

長町病院・地域訪問対策本部発 No. 3 2011年4月1日

本日・長町8丁目訪問。6人が参加、43人の安否確認。

累計・参加282人、安否確認1022人、地域訪問724件、避難所16



青森虹から支援頂いた村瀬さん、本日終了

震災の影響を受けながらも、自分に何が出来るのかという気持ちで皆様が行動されていること、そういう中に私自身がいられたことを心強く感じています。いつの日か、力強く復興されることをお祈り申し上げます。

★長町8丁目を訪問しました★

★寄せられた声を紹介します。★

- *病院に受診したとき、外来に貼られていた寄せ書きを見て胸が熱くなりました。
- *3/11ディに来ていた利用者さんに再会、再開を強く望んでおられました。
- *「早くガスを」「食べ物が手に入りにくい」など困っている方も多く大変だと思いました。でもどなたも前向きに力強く頑張っておられました。
- *回る家、回る家で感謝の言葉を頂きこちらが感激しました。
- *「震災でおれの心が壊れた」、お年寄りの方のこの言葉がとても印象に残った。外観はよくても家の中はたいへん、高齢者はお買い物、身の回りのことがなかなかできないので、そういった支援がいいと思いました。3週間立ちましたが、まだまだ大変な状況です。
- *お留守のところ、子どもさんの所に身を寄せられている高齢者が5～6軒おられました。

地域に根ざした長町病院が得意とする活動が多くの人を救える。

支援いただいた喜瀬先生から激励のメールが届きました。一部紹介します。

建物の損壊が激しく日常診療にかなりの支障をきたし忙しい中、避難所訪問など外に出て活動することは大変だと思いますが、皆様の志の高さを感じることが出来ました。

友の会にはこれから会員の安否や、周辺住民、患者さんの被害状況などを把握する役目が待っていると思います。私は、地域に根ざした長町病院が得意とする活動こそが、今後必要とされる情報源となり、皆様の活躍で多くの人を救えるものと感じました。他の組織、行政とも連携してより効果的になることを願っています。旧知の方にも合うことが出来ました。本当にありがとうございました。